

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 2 年 4 月 15 日

事業所名 保護者等数（児童数） 23 回収数 16 割合 69.6 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	3	1	0	●滞在する時間が短いので十分、長時間になると狭いと感じます	●大阪府指導基準の1名当たり3㎡は満たしているが、児童の特性など配慮が必要な場合には室内に物品を置かないなど、リラクゼーションルームの設けて環境整備に努めている。 ●長期休みなどの長時間利用の場合においては、園庭を使い空間を分けたり等行い工夫している。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	3	0	0	●スタッフの異動が多すぎると不満に思う。異動後はスタッフの配置に関する名簿等をプリント等で知らせてほしい。顔と名前を知ることによって保護者の不安感も減ります。	●国の配置基準2名のところ4名の職員を配置しているが、状況に合わせて増員を行っている。 ●毎年度はじめに「こころ通信号外」として人事異動等を含む広報誌を作成しております。今年度より、4月初めに人事異動後の体制をご報告するために、「こころ通信号外」を発行し、利用者様やご家族、関係機関の皆様に配布をさせていただきました。年度途中等の異動時については、利用事業所責任者より説明をさせていただく等により、ご家族やご本人に異動した職員の顔と名前が一致するように情報提供を行うよう考えております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	12	1	0		●施設内の危険箇所を再度確認し安全に過ごせるよう環境作りに努めたい。入口の段差については、段差スロープレート等を用い安全な環境構築を行います。
適	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	14	2	0	0		●日々更新される療育の情報収集に力を入れ、きめ細やかな対応ができるよう努める。

切 な 支 援 の 提 供	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	12	3	1	0	●季節感が感じられるように企画を行い、前回のプログラムの反省から常に新しいバージョンアップを図った取り組みを行うように進めている。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	9	4	0	●あるかもしれないが聞いたことがないので評価できません ●青少年センターの活動として、毎月第三土曜日に『英語で歌おう』と題した活動をゴスペルシンガーの講師を招いて、当法人が主催して地域の小中学生に案内して、一緒に活動する機会を設けている。 ●長期休暇時などの休校時に地域行事への参加等を行い障がいのない子どもと接する機会を設けていきたい。
保 護 者 へ	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	1	0	0	●利用前に面談を行い、契約前に重要事項説明書を用い説明をしている。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	2	0	0	●ご利用いただいたときの送迎時や来所、降所時に児童の状況や課題について話すようにしている。また連絡帳や電話などを利用し、児童から伝えることが難しいと判断される内容等のフォローは必ず行うようにしている。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	2	0	0	●利用児童、保護者により面談の頻度は変わるが、定期的に行っている。 ●より専門的な助言を行えるよう、法人内専門職との連携及び、外部研修への参加促し等行う。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	7	4	0	●年に一度、保護者参加型の法人全体での保護者会「こころ夏祭り」を行い、児童の活動の様子などをスライドショーで紹介するなど、保護者の顔が見える形で連携支援する機会を作っている。保護者会、また季節行事など保護者参加型の行事や研修を企画している。

の 説 明 等	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所責任者だけでなく、法人内に苦情対応窓口を設置している。 ●より迅速に対応することができるよう、職員全員にスマートフォンを配布し、タイムラグをなくすよう努めている。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ●登園時、降園時に、児童から伝えることが現段階では難しいと考えられる事項を伝えるようにしている。 ●また連絡帳等で伝えることができなかった事などは降園後でも電話等で行っている。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ●当法人ではホームページの他にFacebookでの情報発信、月ごとの広報誌の発行も行っています。 ●ホームページやこころ通信からFacebookへのアクセスが可能ですので是非ご覧ください。
	14	個人情報に十分注意しているか	14	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ●法人内でSNS等に掲載する場合、もしくは広報誌等で写真を載せる場合には個人が特定されないようマーク等を用い加工している。 ●また職員に対しても、法人内でスマートフォンの使用方法、児童への指導方法についての研修を行っています。を行っています。
非 常 時 等 の 対 応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ●緊急時対応マニュアル、感染症マニュアルを策定し職員研修や一部保護者に説明を行っている。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ●月に一回、必ず避難経路を確認するため子どもたちと避難訓練を行っている。また年に一回、使用施設全体で避難訓練を行っている。

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	12	3	1	0	●来年度から週1回でいいと言っています	●続けて、楽しく通える環境を維持していきたいと考えている。
	18	事業所の支援に満足しているか	13	3	0	0	●帰りの送迎(自宅への)なぜ利用している事業所のスタッフじゃない時があるのか？今日の様子とがわからず「連絡帳を見てください」と言われるとあま気持ちのいいものじゃありません。	●要望に対して不適切な対応を深くお詫び申し上げます。当法人では送迎サービスについて、利用児童の車両内での時間短縮を最優先に考えています。当法人が運営している同一事業で行う送迎サービスについては法人本部管理局輸送・渉外委員会において総括的に調整しております。他の事業所の職員が送迎につく場合においては事前に児童の情報共有を行った上で行っております。送迎サービスは当日の様子を伝えるためのサービスとして想定していないことから情報伝達のため「連絡帳」を活用しています。当日の利用状況の気になる点、深く知りたい点等あればいつでも利用事業所へお問い合わせください。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。